



除排雪の随意契約は適正か

遠藤 宏司 議員

法令に則り執行している

町 長

除排雪契約

原則の入札を行わずに随意契約により契約した除排雪委託は、法令や町財務規則に則った適正な契約になっているか。町長 道路除排雪及び雪山崩し業務を「大石田町道路維持協同組合」と随意契約を締結し、一括して業務委託している。業務委託は財務規則で「競争入札参加資格者名簿」に記載された者から選定することになっている。法令の規定に則り適正に執



くらしを守る除排雪

行していると考えている。

特定の業者が優遇されたり、また冷遇されたりすれば、公共事業で特定の業者に便宜を図ったと見なされる。業者間で不満が起きないようにすべきではないか。町長 公共施設の除排雪は、相応のノウハウや熟練の技術を持つ業者に委託せざるを得ない。能力その他の複数の条件を満たす業者は「道路維持協同組合」に特定される。

まめ知識

【随意契約とは】

競争の方法によらないで、任意に特定の相手方を選択して締結する契約方法をいう。地方公共団体が行う契約は入札によることが原則であり、随意契約は法令の規定によって認められた場合のみ行うことができる。競争入札と比べて、手続の簡素化、技術力・経験の豊富な業者との契約ができるなどのメリットがあるが、公平性や透明性の点などでデメリットがあるとされている。

リフォーム支援の増額を

住宅リフォーム支援事業は1億921万円の補助で1億5900万円の住宅の工事を行っている。町に住み続けるため住宅をリフォームする町民や建設業者の利益になり、町経済の活性化にもなっている。当初予算で枠を拡大し予算を組むべきかどうか。町に積

極的な事業計画がなければ、国も県も補助金や交付金を増やさないのではないか。町長 県補助金に町が加算し補助金を交付する事業だ。県は昨年度の実績等を勘案し当初配分額の上限を決定したとの回答であり、他市町村より多く配分していただいたと理解している。

町の考えを問う

5議員が一般質問



小林 征雄 議員

- ◆重要事業の優先順位
- ◆教育のまち大石田に期待

15ページ

一般質問とは…

議員が町の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質すことをいいます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。今定例会では5議員が一般質問を行いました。

芳賀 清 議員

- ◆人口減少に対する取り組み
- ◆中高年の健康増進

16ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆町道など公共施設の除雪
- ◆住宅リフォーム支援事業の拡充

13ページ

小玉 勇 議員

- ◆子どもに対する学習支援

17ページ

村形 昌一 議員

- ◆子どもに対する町の考え
- ◆桂桜公園の代替公園

14ページ